

## 自然災害の備えとして「ぎょさい」

早いもので、平成 26 年度上半期も残すところ僅かになりました。今年の夏は、西日本を中心に異常な降雨量となり、各地に大きな被害をもたらしました。今後も異常気象が発生する可能性が非常に高いと予想されております。「ぎょさい」は、このような自然災害の備えとして、漁業経営を守るために仕組みられた重要な国の制度です。

昨年度中に自然災害により多額の支払となった事例をみると、北海道のこんぶをとる漁業での生育不良、瀬戸内海の船曳網漁業におけるシラスの来遊不振、特定のり養殖共済ののり生育不良（平成 24 年度漁期）などがあげられます。特にのりの生育不良については、兵庫県での色落ちや熊本県での低水温などが原因で、全国で共済金約 21 億円、払戻金約 38 億円、あわせて約 59 億円を支払いました。

こうした災害に備えて、地方自治体でも「ぎょさい」への加入を支援するため、掛金助成を行っています。愛媛県宇和島市では、平成 24 年度に発生した赤潮により大きな被害を受け、平成 25 年度から行われている養殖共済の掛金助成が本年度も継続され、八幡浜市と西予市でも本年度から養殖共済の掛金助成が実施されています。また、沖縄県では沖縄漁業基金事業が実施する漁業共済掛金助成（日台）が平成 26 年 4 月よりスタートし、この事業の対象となる契約の共済責任開始が集中する 10 月～11 月に向けて、現在、本事業を活用しての推進を展開中です。

漁業経営安定のため、今後、行政庁、関係団体のご支援・ご協力のもと、共済団体一丸となってさらなる加入推進に取り組んでまいりますので、なお一層のご活用をお願い致します。

平成 26 年度の加入実績（8 月末累計）（単位：百万円）

区 分	ぎょさい（共済金額）			積立ぶらず（漁業者積立額）		
	26 年度	25 年度	前年比	26 年度	25 年度	前年比
漁 獲 共 済	75,762	71,301	106%	3,137	2,865	109%
養 殖 共 済	146,617	132,079	111%	4,386	2,649	166%
特 定 養 殖 共 済	2,068	1,571	132%	97	79	123%
漁 業 施 設 共 済	7,364	6,568	112%			
地 域 共 済	3,050	3,536	86%			
合 計	234,862	215,054	109%	7,620	5,593	136%